

Photo ふなばし

とくしゅう
PART2

歩いて みよう ふなばし春の散策路

- 市政トピックス ● 街角ホットニュース
- 私のカメラアイ ● WE ARE IN FUNABASHI
- サークル通信

まちなかの文化財 / 青少年会館
ふなばしの民話 / ビデオ講座



船橋大神宮



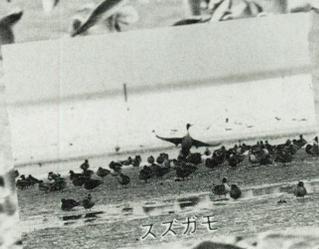
小室町

とくしゅう PART 1

ごぞんじ
ですか

海浜公園

海の野鳥たち

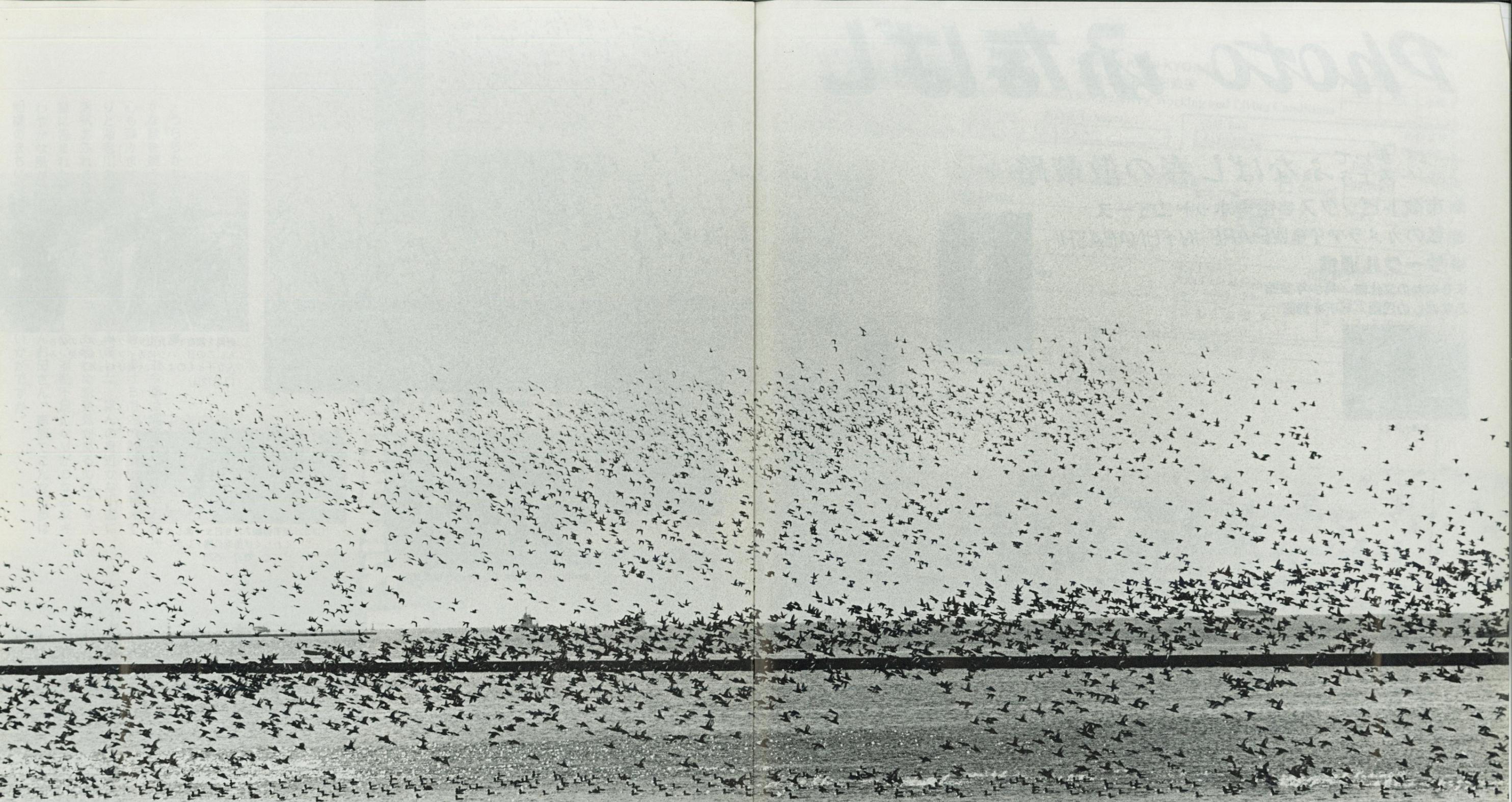


スズガモ

vol. 30

広報ふなばし写真版

海浜公園人工砂浜のユリカモメ



海浜公園

とくしゅう
PART 1

ごぞんじで すか 海の野鳥たち

海浜公園前の海を飛ぶスズガモの大群。
(3月2日撮影)

海からの風を羽いっぱいを受け
飛ぶ鳥の大群。波打ち際では、く
ちばしの長い鳥が餌をついばんで
いる。こんな光景が船橋市内で見
ることができると信じられま
すか。場所は、船橋海浜公園の前
に広がる人工砂浜。オープンして
6年。人工の砂浜に生命の息吹が
芽ばえ、鳥の餌となる二枚貝やゴ
カイなどが発生したことが、鳥た
ちがやってきた原因のようです。
財日本野鳥の会の調べでは、日
本全国で見られる野鳥は525種
(昭和58年)。海浜公園では約80種
が確認されています。

歩いてみよう

とくしゅうPART2



学園通りから船橋小前にぬける小さな踏切。

ふなばし 春の散策路



祖師堂あたり(小野田町)



八幡神社(小室町)

うららかな春のおとずれ。鮮やかな緑を競う草木たちに、人々の心も弾みます。潮の香りもほんのりと海老川の調べと路地裏通り。活気あふれる商店街。うっそうと緑に包まれた神社仏閣。広々とさわやかな風が吹きぬける田園地帯。船橋のまちには様々な顔がありま

す。そこで今回は編集部でちょっと気軽に歩ける市内の散歩道を考えてみました。ほんの身近かな小道にも思わぬ新発見があるものです。つい運動不足になりがちなお父さんお母さん、家族でこんな散歩はいかがですか。



改修工事完成も真近な海老川。間もなくこの護岸も石垣調にデザインされたムード溢れる散策路に生まれ変わる。



海浜公園に集まるユリカモメの群。遠くから眺めると、貝をついばんでいるその姿はまるで砂浜に雪が積っているかのようだ。



野鳥を観察する丸山サシチュアリの皆さん。この日、ハジロカイツブリを発見。みんな子どものように大喜びだった。(3月12日)



春の休日、家族連れでにぎわう船橋の海浜。



潮干狩りは7月9日まで楽しめる。くわしくは海浜公園テレホンサービスで。☎37-2525



今年の冬は暖かく観察が楽だった。その反面、野鳥の飛来が減るので手放しで喜べないという。



羽を休めているスズガモの群。海面が黒く見えるほどだ。春にはシベリアに帰る。

「ミサゴという鷹の仲間が大きなボラを捕えて食べるのを見たことがありますよ。」「ここでユリカモメを見つけた時は感激したなあ。」「スズガモの大群が一斉に飛び立つ時はすばらしいですね。」「ここは船橋海浜公園の前に広がる人工砂浜。沖を見ると春の陽をいっぱい浴びながらスズガモの群れが身つくりの真最中。今、船橋海浜公園は、バードウォッチャーたちの間でその名が知られるようになってきた。」「これだけ沢山の鳥が見られて、しかもここは海ですからね。もう最高ですよ。」「野鳥ファンは、ここの高砂浜が、渡り鳥たちが休める場所として貴重な砂浜だ。昭和57年にオープンした海浜公園はこの人工砂浜と潮干狩り場もできた。今、6年経ち、人工の砂浜にもゴカイや貝、カニ類などが生息するようになり、鳥の休息地としての条件も整った。また、船橋浦には、エサとなる小魚も豊富だ。」

「鳥も人も共存できるまちに」という大橋和夫市長は「開発と自然の保護という相反することをバランスよく考えていかなくてはならない。」「この海浜公園やワンパク王国、そして緑を増やし保護する様々な施策に重点を置いている。」「東京湾を渡る風が肌心地よい季節になった。皆さんも双眼鏡と図鑑を持ってバードウォッチングはいかが。もし本格的にという方には財日本野鳥の会千葉支部が毎週各地で観察会を開いている。また、市内でも活発に活動しているグループもある。興味のある方は問い合わせみてはいかがでしょうか。」

●財日本野鳥の会 千葉支部
電話 ☎37-6521
(土曜日の午後3時〜7時)
●丸山サシチュアリ 三神鶴吉
電話 ☎38-6076

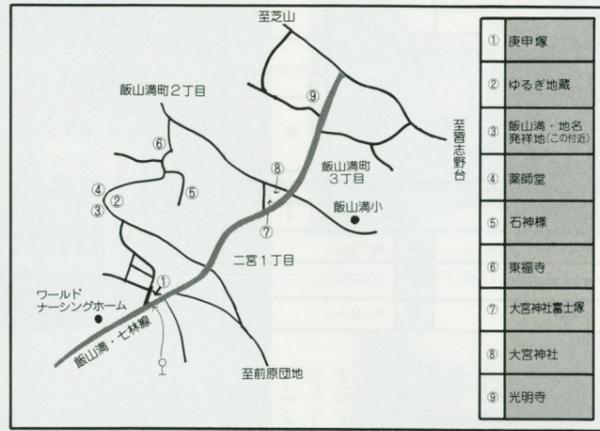
うっそうとした林の中に

ゆるぎ地蔵と飯山満の由来

をさぐる！



庚申塚。悪疫・悪霊から村を守るため、また、村の無事を感謝して村の入口に作られた。(飯山満町2)



JR船橋駅北口からバスで約15分。飯山満2丁目自治会館というバス停で降りると、道路沿いに庚申塚が迎えてくれる。ここを出発点として、ゆるぎ地蔵、薬師堂、東福寺、大宮神社、光明寺を回る約1時間の道程。コース半ばにある農家に江戸時代から伝わる石神様も見つけられる。(家人の了解必要)

コースは、起伏があり、少々きつい。故郷の道を歩いているような懐かしい風景が心を和ませてくれる。特に、ゆるぎ地蔵のある辺りは、このコースの中でも緑が深く、前に広がる低地にひっそりとたつ弁天様のほころが時の流れを忘れさせてくれる。



ゆるぎ松前にある弁天様。(飯山満町2) かつては池の中に浮かぶように建っていた。



林行次さん宅の石神様 (飯山満町2)



文字どおり飯山満町は、土地の起伏が多い。



飯山満緑地公園。斜面を生かした緑が美しい。



ゆるぎ地蔵を祭るほころ (飯山満町2)



京成線沿いの通称「学園通り」。この道が太宰治(S10年7月~11年10月)、石川淳(S20年5月~22年秋)らの生活の道であった。



日本で一番小さいといわれる東照宮。(本町4)



当時の雲間気がわずかに漂う太宰治旧跡付近の京成線踏切。

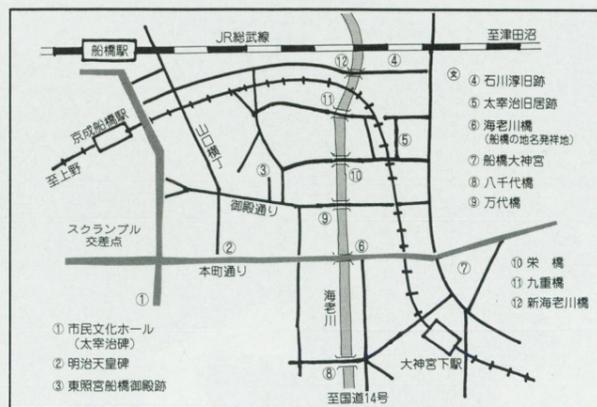
※東京上空で焼け出された石川淳が転がり込んだという海老名雄一氏の旧家はもう残っていない。現在は同氏所有のアパートになっている。



太宰が友人、神戸雄一に宛てた手紙の地図に「九重橋」の名があった。その九重橋も昨年新しく生まれ変わり、太宰のレリーフが飾られた。



太宰治旧跡。(左2軒目宮本1-12-9) かつて太宰治自身がここに植えた丈竹桃は、現在市民文化ホール前に移植されている。



太宰治が船橋に住んで「虚構の春」『ダス・ゲマイネ』などのいくつかの作品をここで書いていたことは既によく知られている。そして川端康成、永井荷風、石川淳らそうとうたる文豪たちもまたこの船橋にゆかりが深い。そこで散策路第一弾としてこの太宰治、石川淳らが暮らしたこのあたりの路地裏歩きなどはいかがだろうか。

JR船橋駅南側の本町4丁目、宮本1丁目付近一带は多くの路地と無数の民家が密集している。路地はまるで迷路のように曲がり折れて、幾度歩いてもややくしく面白。太宰治、石川淳の旧跡はそんな直中にある。紙面の地図はあくまでも略図なので、お手持ちの地図でこれらの道を自由に歩いてみてはと思う。今、改修工事の完了間近、海老川には12本の夢のある橋がかかるが、その一つ「九重橋」には昨年11月、この太宰治を記念したレリーフが埋め込まれ親しまれている。

太宰治、石川淳
文学の路をたずねて……



市民文化ホール前庭にある太宰治文学碑。

サイクリングか健脚の方に

緑の田園風景と古寺を味わう



蓮蔵院で静かに眠る墓石たち。天保3年(1646)のものもあり、かなりの古寺らしい。



① 本寛寺	② 八幡神社	③ 諏訪神社
④ 光明寺	⑤ 安房神社	⑥ 祖師堂
⑦ 定尾神社	⑧ 鈴身神社	⑨ 蓮蔵院
⑩ オスカ一乗牧場	⑪ ワンバク王国	⑫ 船橋泉民の森



光明寺。日蓮宗で玉井山と号す。

春の日差しを浴びながら、家族で神社・仏閣を巡るサイクリングなどはどうだろうか。小室駅近くの真新しい本寛寺からスタートし、小野田町の光明寺・安房神社・祖師堂、そして鈴身町の蓮蔵院・鈴身神社などを経てワンバク王国へと抜けるコースである。このあたりの寺や神社は、まるで申し合わせたように小高い丘の上に鎮座して、広い水田や谷津田を見守っている。木もれ日に眠る石仏がはげんだ呼吸を静めてくれる。



祖師堂あたりの雑木林。久しぶりに砂利道の感触を楽しんだ。



この祖師堂は、萩の木で作られたと伝えられ、かつては萩堂と呼ばれていた。



このあたりの鎮守。鈴身神社。蓮蔵院を見下すような高台にある。

まちなかの文化財

八坂神社

(印内2丁目)



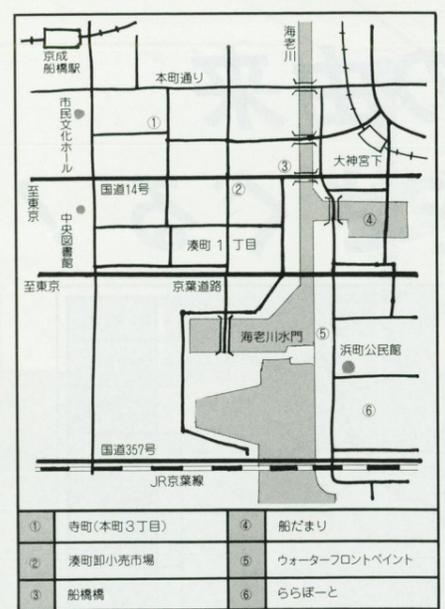
旧印内(いんない)町の街なか。すぐに、簡明など云うか、さっぱりとした石の鳥居に迎えられる。その右の柱のたもとに、「八坂大神」と朱の入った、文人好みの書体で彫られた石標が目についた。見れば「相馬郡」の講中の寄進。「みぎ鎌ヶ谷道」と道標を兼ねたようだ。

鳥居の先は、御影石の板石を敷きつめた長い参道がずっと続いている。中程に石燈籠一対。その奥まった先に狛犬一対。これはまた恰も生けるが如く、かっと目を見開いてこちらを睨みつけている。拝殿の屋根など少しも見えぬが、それは狛犬の故ではない。何しろ左手の大銀杏、右手には百有余年の楠の巨木加えて、まず地を這い忍らち天にも昇ろうという姿形の老椿。この日は八重の薄赤い花をどつさり着けていたが、社殿全体を包み隠そうとでもいうように、めいめいの枝梢の先を思いきり広げている。

これ正に「臥竜椿」。一人悦びに入っていると、その椿の根方の向う、樹蔭の下に二体の古い石仏。庚申の三猿を踏んまえた青面金剛と、少し緑苔を帯びたお地藏さんと、仲良く並んで立っている。その静かなお姿を拝して自ずから無心に帰る。(文・大木勲)



鳥居の奥の石燈籠。明かりをつけやすいため小さな石段がとりつけてある。



船橋には何といても海がある。その香ばしい潮風の香りを求めて歩いてみよう。本町通りの交差点から南へ向かう。途中細い路地を左に折れるとまるで鎌倉を思わせるかのような風景がある。寺町である。ここは大仏追善供養で知られる不動院をはじめ、多くの寺院が密集している。湊町卸小売市場では朝市が行われ、船橋の海でとれた魚やのり、近郷近在で作られた野菜などが売られ、大勢の人々でにぎわっている。市場を後に国道14号線に架かる船橋橋を渡る。すぐ右へ曲がり南へと歩く。船だまりや漁の舟をながめながら更に行くところの潮の香りも一段と強くなる。

① 寺町(本町3丁目)	④ 船だまり
② 湊町卸小売市場	⑤ ウォーターフロントペイント
③ 船橋橋	⑥ ららぽーと



湊町市場の朝市。近所の奥さんや飲食店の仕入れでにぎわう。

海老川橋の高欄には泉重千代さんの手が飾られている。



ららぽーと前の提防には色も鮮やかに絵が描かれ道行く人の目を楽しませてくれる。



寺町にある円蔵院。ここは因果地藏尊で有名だ。

潮風を求めて 海老川から船橋港へ



船橋ファミリータウン前に広がる船だまりは、今もここが漁師町であることを私たちに教えてくれる。

市政トピックス

地域の問題を話し合った 東部地域市政懇談会

3月5日(日)、東部公民館で東部地域市政懇談会が開催され、あいにくの雨にもかかわらず約200人の市民が参加しました。市からは大橋和夫船橋市長をはじめ建設局長など各部長が出席、三山・田喜野井など東部地域五つの連合会長などから出された各地域の要望や会場の参加者からの質問に答えるなど、地域の問題点について、直接懇談するという初期の目的を果たしました。懇談会は、今後各地域で開催されることになっています。



▲身近な問題に、参加された皆さんも真剣です。

▲大橋和夫市長をはじめ、建設局長、各担当部長が出席。

イザという時のために 防災リーダー研修会

2月26日(日)、防災リーダー研修会が消防局で行われ、自主防災組織のリーダー123人が出席しました。今回は、廣井脩東京大学新聞研究所助教授を講師に迎え「災害時の情報伝達と住民の避難行動」というテーマで約2時間の講義でしたが、過去の災害についての様々なデータに基づいた具体的な話に、参加した皆さんは熱心にメモをとっていました。



▲講師の廣井脩東大助教授

真剣に講義を聞く参加者の皆さん。



6月の開通に向け急ピッチで工事が進む都市計画道路3・4・25線(船橋大神宮付近)

交通渋滞解消へ 着々と進む道路網の整備

船橋大神宮脇から京成大神宮下駅にかけて道路工事が行われています。これは、市の都市計画道路3・4・25号線。この市場から国道14号に至る南北道路は、6月ごろに完成し、この周辺の車の流れに好影響を与えることが期待されています。このほか、夏見バイパスも同じごろの完成を目指し工事が進んでいます。



夏見バイパス(前貝塚町)

市船サッカー部の強さの 秘密を探った スポーツ健康フォーラム



シュートが決まった時の感想を話す曾我選手。

第七回スポーツ健康フォーラムが3月2日(木)、市民文化ホールで開催されました。今回のテーマは「和を以て技を征す」。これは、1月の全国高等学校選手権大会で準優勝となった市船サッカー部のモットーですが、今回は、市船サッカー部にスポットをあて、その強さの秘密にせまりました。会場には布監督をはじめ、サッカー部員が出席、視聴覚センターが制作した試合のVTRを見ながら、その時の感想を部員にインタビューするなど臨場感あふれるフォーラムとなり、ほぼ満員となった会場からも選手たちに盛んに声援が送られていました。



体育館は、跳んだ回数を数える子どもの歓声に包まれた。

壇上に勢揃いした市船サッカー部イレブン。



会場から盛大な拍手に迎えられて入場するイレブン。

新記録が続出 長縄跳び大会 力が入った綱引き大会

2月19日(日)、運動公園体育館で長縄跳び大会と綱引き大会が開催されました。午前中に行われた長縄跳び大会では、小学校54校が参加、前回の記録115回に挑戦しましたが、高根小が見事157回を跳んで初優勝しました。午後行われた綱引き大会でも高根小PTAが優勝、初代チャンピオンになり高根小は、ダブルタイトルを獲得しました。



優勝は高根小PTAチーム。

青少年会館

第一回船橋市 小・中学生将棋大会

第一回船橋市小・中学生将棋大会が2月5日(日)、青少年会館で開催されました。当日参加したのは、小学生51人、中学生は50人。それぞれ優勝を目指して熱戦を繰りひろげました。

見事優勝に輝いたのは、岡崎敢一郎くん(八栄小学校6年)と澤田泰宏くん(三山中学校1年)のお二人でした。写真は小学生の部の対局風景。



外国人もモチつきに挑戦。

第一回 青少年の国際交流フェスティバル
いろいろな国の青少年と交流を歓迎し、親睦を図ろうと、3月21日(日)、青少年会館で「第一回青少年の国際交流フェスティバル」が開かれました。会場では中国人の皆さんによる本場の水餃子などの各種模擬店や、ユニホックをはじめいろいろな軽スポーツが行われ、6か国約50人の参加者でにぎわいました。

いつもサッカーをしている金杉公園。広いから思い切りできるんだ。
井口智央くん(南三咲1)



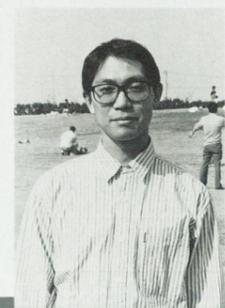
磯崎よし子さん(前貝塚町)
海老川の桜がきれいですね。よく歩くんですよ。



子どもが安心して遊べる海浜公園がいいですね。
脇 健次さん(二子町)



中島サヨ子さん(金杉5)
人ごみの少ない平日の御滝公園が好きです。



中川洋子さん
千恵ちゃん
由紀ちゃん(前原東5)
ワンパク王国のアルキメデスの泉やにじの池です。



市民ひとことインタビュー
今回のテーマ 船橋この場所が好き!

レンズがとらえた

街角ホットニュース

ワラで作った大蛇で村の安全を祈る 中野木の辻切り

2月3日、八坂神社(中野木町)で辻切りが行われました。これは、同地区で毎年行われる伝統行事で、ワラやヒラギなどで作った大蛇、雌雄2体を町の東西の辻に掲げ、この一年、悪霊や疫病が町内に入るのを防ぐとともに、住民の無病息災を祈るものです。他にも、楠が山町をはじめ、市内の数か所で、行われています。



完成した雌雄2体のワラヘビ。

高根東小2年2組のお友達が海老川にサケを放流

「必ずもどって来てね」という子どもたちの願いとともに、3月4日、サケの稚魚30匹が海老川に放流されました。これは、高根台の活魚商・斉藤隆さんが近所の小中学校・幼稚園に贈った卵を、2年2組の飼育係がふ化に成功し育てたもの。放流したあとみなさんは6cmほどにまで成長した稚魚たちをいつまでも見守っていました。



心配そうに放流したサケの稚魚を見守る皆さん。

▲担任の浅沼先生と飼育係の皆さん。

ワラヘビを揚げたあと、三本締めで無病息災を祈る。



作品を見るお客さん。

銀行で女性だけの写真展 夏見木の会、作品発表会

夏見に住む主婦たち10数人が集まって作っている写真サークル木の会、の作品展が去る3月23日から2週間、地元夏見の千葉興業銀行で開かれました。作品は会員たちが日頃撮りためた傑作の中から18点が選ばれて出品され、銀行をおとすれたお客さんたちの目を楽しませました。

私のカメラアイ

心の眼で…… 近藤典子(前貝塚町)

海老川は私の好きな場所です。四季折々に数多くの野の花に逢えます。春には色とりどりの小さな花が咲きます。自然の中で、それぞれ環境に合った顔をして咲いている花の名を、ひとつでも多く覚えると歩いていても本当に楽しいものです。私はこの数年間、ずっとこの海老川の草花の撮影を続けてまいりました。できる限りストレートに、その場の光でありのままにシャッターを押し、その花の存在感が表われればと工夫してきました。「心の眼で撮る」野の花に教えられた私のささやかな写真哲学です。



タガラシ (4月～5月頃)



シロツメクサ (4月～7月)



カタバミ (4月～6月頃)



クサノオウ (5月～7月頃)

町会・自治会だより

町会・自治会の楽しいニュースをお待ちしています

スーパーも驚く品揃え 高根東町会でバザー

2月26日(日)、高根東町会でバザーが行われました。会場となったのは、この1月完成したばかりの高根東会館。館内には、会員が持ち寄った品物が所狭しと並び、一日店員?の婦人部の皆さんも大張りきり。この日の売り上げは、会館の建設費などに充当されるそうです。



サイズあるかな…。

▶学年を越えた交流が子供会活動の魅力です。



ゲームなどで楽しいひととき 前原札場青空子供会の歓送迎会

3月5日(日)、前原札場青空子供会の歓送迎会が東部公民館で行われました。参加したのは約150人。まず、今年小学校を卒業する人と小学校に入学するお友達一人ひとりにプレゼントが贈られました。その後、腹話術やゲームなどで楽しいひとときを過ごしました。



楽しい催しに子どもたちも大喜び。

いかがですか新しい住居表示

市では、住居表示整備事業を市民の皆さんのご協力を得ながら進めています。現在までに地域の約51パーセントが住居表示されています。そこで、昨年住居表示を実施した地域と今年2月に実施した地域の方に新住所について感想を伺ってみました。

昭和59年度に住居表示が実施された大穴南1-2丁目の住宅街。

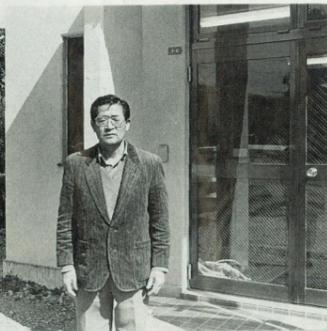
近藤 孝さん (葉田台6)



1年経ちましたが新住居表示にもなりましたね。また旧表示で年賀状がくることもあります。一ツ残念なのは、園という字が使えなくなりました。

小石弘道さん (中野木2)

住居表示が変わったといっても中野木という地名は残りましたので違和感はありません。人に場所を教えるのも楽になりましたし、便利になった感じがします。



ふなばしの民話

重右衛門はなし(三) 負け惜しみ

重右衛門は、いつも他所の家に行つて奉公をしていました。しかし、何処の家でも、奇行が激しく、長く務まりませんでした。大抵、長くて半年、短い時は一ヶ月も経ない中にお払い箱になりました。これが、北方村(現・市川市北方)の名主の久兵衛どんの家では、この家のおばは様の人使いが上手で、三年も奉公しました。



重兵衛門が奉行したといわれる久兵衛どんの家。現・栗原忠平さん宅(市川市)。



重右衛門を呼び「重右衛門や、長い間よく辛抱して働いてくれたのよ。ところで、ここに余り長く居ても、お前がやりずらいだろうから、他所で働いてみなさ。本当にいいだよ」とお茶をすすめながらいきました。「おばは様、それは違います。他所の家では、何処でもほんのちよつどの期間でやめて来まして。それがおばは様の家では、丸三年もいました。三年も使われて、それが悔しくて悔しくて、涙がこぼれました」と殊更に力んでいました。重右衛門は、久兵衛どんのおばは様には、従順な下僕(げぼく)のように仕えていました。しかしながら、照れくさくて、素直にお礼をいえないへそ曲りの重右衛門は、最後までこのように負け惜しみをいったということなのです。

[文・村上昭三]



3月10日から15日までの6日間、第二回ヘルシー船橋フェアが西武百貨店船橋店で開催されました。今回のテーマは「かかりつけ医の現在、未来を考える」。会場では、市内の医院と医療センターの医療機器などが結びついた地域医療システムについての分かりやすい説明や、パネル展示、医療・健康・栄養などの相談コーナーが設けられ、期間中約23,000人の人々にぎわいました。



会場を見る大橋和夫市長(右)と山崎芳久船橋市医師会長(中央)と当麻功西武百貨店船橋店長。

スポーツで健康ふなばし こんにちは…



3月24日(金)、運動公園陸上競技場で市老連ゲートボール大会が行われました。東葛地区大会の予選も兼ねた同大会には104チーム約800人参加、皆さん日ごろの練習の成果を発揮しました。



3月20日から行われていた全国高校バレーボール選抜優勝大会で4年連続出場の市立船橋男子チームは大健闘し、見事3位となりました。なお、アベック出場を果たした女子チームは強豪成安女子高校に惜しくも1回戦で破れました。選手の皆さんご苦労様でした。